

「いま」を彩る

加治木高校生徒会新聞
軌跡



最終号
2023.07.14.(金)

制作
下村将太郎

発行
第75代生徒会



一、「いま」を彩る
二、連載まとめ
三、言の葉
四、好きになっちゃう放課後

五、二百字の本棚
六、LOGICAL
七、編集後記。

六月、加治木高校第七十五代生徒会の活動が終了しました。スローガンは「愛輝 瞬間(いま)を彩る」。現二・三年生から選ばれた十三名が、本部役員として一年間活動しました。

七十五代生徒会では、例年通りの活動の他に、あい若者まちづくり会議への参加や地域交流事業の主催など、地域に根差す生徒会を目指して活動を行ってきました。また、新型コロナウイルス感染症の社会的な扱いの過渡期に、行事や集会の在り方の見直しも行っています。

七月からは、吉留亜美会長を中心とする第七十六代生徒会が活動を開始しました。これまで、第七十五代生徒会の活動へのご協力、本当にありがとうございました。七十六代の皆さん、頑張ってください！

連載まとめ

『言の葉』——全十一回

偉人の言葉、小説の中の言葉などから、毎号ひとつを掲載しました。素敵な言葉には素敵な力がある、それを感じていただければ嬉しいです。

『好きになっちゃう放課後』——全八回
八人の先生方に、学問の魅力を語っていただきました。執筆してくださった先生方、ありがとうございました。

『二百字の本棚』——全十回

おすすめの本を、ジャンルにとらわれずに毎号一冊、二百字の文章で紹介しました。みなさんが、素敵な一冊に出会えますように。

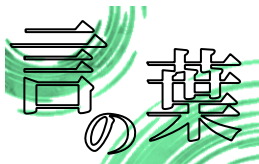
『LOGICAL』——全十回

知識は要らない、でも頭を柔らかくしないと解けない論理クイズ。お楽しみいただけましたか？

『編集後記』——全十一回

新聞担当(下村)が執筆中に思ったことなど、書き置いたコーナーです。終わってみて、自由過ぎたかもしれないなあなんて思います。読んで下さった皆さん、ありがとうございました。

Thank you for reading!



ぼくが5歳のとき、母はこう言っていた——「幸せこそ人生に必要なこと」。

学校へ行くと、将来の夢を尋ねられる。ぼくは「Happy」と書いた。みんなは、ちゃんと質問の意味を理解しろと言う。だから、彼らに教えてあげたんだ。

「きみたちは、人生をわかってない。」——John Lennon

学び
が好きな人になっちゃ

放課後

連載『好きになっちゃ
う放課後』最終回のテ
マは「学び」。学ぶことの
楽しさを、魅力を、公民科
の齊藤先生が語ります。
お楽しみください！

◆三十数年前、大学でフ
ランス語を学んでいたこ
とがある。そのとき「あな
たを愛しています」(Je
vous aime. ジュヴゼー
ム)と丁寧な言い方をする
際の「あなた vous ヴー」と
いう単語には複数形の意
味もあると知った。

◆なぜ単数と複数、両方
の意味があるのか、ずっと
疑問だったが、数年前、そ
のルーツが古代ローマに
あることを知って驚いた。
当時、ローマ帝国には、

広大な領域を統治するため
複数の皇帝が置かれていた
のだが、そのことが二人称
複数の由来だという。それ
を知ったのは、たまたま英
語の歴史についての本を読
んでいたときで、思わぬと
ころから、世界がつながる
楽しさを体感した瞬間だっ
た。

◆最近、オンライン英会
話を始めた。英語の勉強の
つもりだったが、哲学や宗
教、歴史・地理や音楽などの
話で盛り上がることもあ
り、様々な国の講師との出
会いを楽しんでいる。

◆プラトンとアリストテ
レスの2人は、世界中のほ
とんどの国で知られている
偉大な哲学者であること。
プロテスタントには多くの
種類があり、特徴も多様で
あること。同じイスラーム

でも飲酒や豚肉食について
のとらえ方に違いがあるこ
と。アフリカや中東などの
国々では、今なお厳しい政
治や経済の問題に直面して
いること。

◆日本人として知ってお
くべき日本や世界の歴史に
ついて、改めて気づかされ、
社会科教師として冷や汗を
かくこともある。学校で学ん
だり、本を読んで知ったりし
たことが、実際にその国の人
から直接話を聞くことによ
って、世界が広がり、より深
いつながりが見えてくる。

◆つながる、広がる、世界
が変わるというのが学びの
面白さ、楽しさ、醍醐味だ
と思う。知識がつながると、世
の中の事物の関係性、構造が
分かり、以前とは違う見通し
の良い晴れ上がった世界が
現れる。学ぶことの楽しさを
是非皆さんにも経験して欲
しい。その経験はきつとあな
たの血肉となり、自身の人生
をより豊かにしてくれるだ
ろう。



「百字の本棚」10冊目

「お探し物は図書室まで」
青山美智子

「何をお探し？」——迷える五人
がふとしたきっかけで訪れたのは、
町のコミュニティハウスの小さな
図書室。不愛想、でも聞き上手な司
書が彼らに贈る、意外な一冊と小さ
な付録。人は時に悩みを抱えて動け
なくなってしまうけれど、そんなと
き行き先を教えてくださいるのは、一冊
の本だったり、何気ないひとことだ
ったり、そこにいてくれる誰かだっ
たり。失くしてしまった何か、これ
から出逢う何かを探しに、ぜひ、お
探し物は図書室まで。

LOGICAL X

前回の問題 AとBの二人で数当て
ゲームをする。Aは1・2・3のど
れかを紙に書いて隠し、BはAに一
回だけ質問できる。Aが「はい」「い
え」「わからない」のいずれかだけ
で返事するとき、Bは何と訊けばA
が書いた数字を当てられる？
答え 「紙に書いた数字に0か1を
足すと2より大きくなるか？」

編集後記

期末考査が終わり、七夕が終わり、
今年の夏もいよいよ盛り。と、現代を
生きる我々の季節感ではそうなので
すが、古典では「七夕」は初秋の季語。
ちなみに、恋人同士が年に一度の逢瀬
を果たす物語は、七夕の夜空で、彦星
と織姫星が天の川を挟んで接近する
ことから、後付けで創作された伝承の
ようです。つまり、恋愛成就を願う日
ではありません。悪しからず。

しかし、旧暦にしろ新暦にしろ、こ
の時期は季節の変わり目。そして加治
木高校では、生徒会の代替わりの時期
でもあります。六月をもって、第七十
五代生徒会の活動が終了しました。七
月からは、第七十六代の活動が始まっ
ています。一年間、生徒会活動へのご
協力ありがとうございました。

そして、この生徒会新聞『軌跡』も
今回で最終号です。全十二号、読んで
くださった皆さん、記事の執筆に協力
してくださった皆さん、そして、毎号
のように私に感想を話してくださっ
た皆さん、ありがとうございました。
魅力的な読者を得てこそ、魅力的な新
聞を生むことができたと思います。

さて、結びに、私がこれまでずっと
新聞を書いてきて思ったことでも書
き置いてみます。ことばに真摯でいら
れるということ、これは本当に素敵な
ことです。ぜひ大切に。では、さよう
なら——またいつか。(下村 将太郎)